

阿知和地区工業団地造成事業特別会計〔予算額 5,048,197千円〕

阿知和地区工業団地関連道路整備業務〔予算額 1,149,678千円〕

財源内訳	阿知和地区工業団地造成事業特別会計:繰入金 356,196千円、繰越金 1千円、市債 4,692,000千円
	阿知和地区工業団地関連道路整備業務:国庫支出金 157,670千円、市債 675,000千円、一般財源 317,008千円

■阿知和地区工業団地造成事業特別会計

◇概要

- ・位置：東阿知和町、西阿知和町及び真福寺町地内
- ・面積：約66ha
- ・分譲面積：約32ha

企業の工業団地需要に応えるため、工業団地とスマートインターチェンジを一体で整備します。

令和6年度は、PFI事業による工業団地の造成工事を進めます。



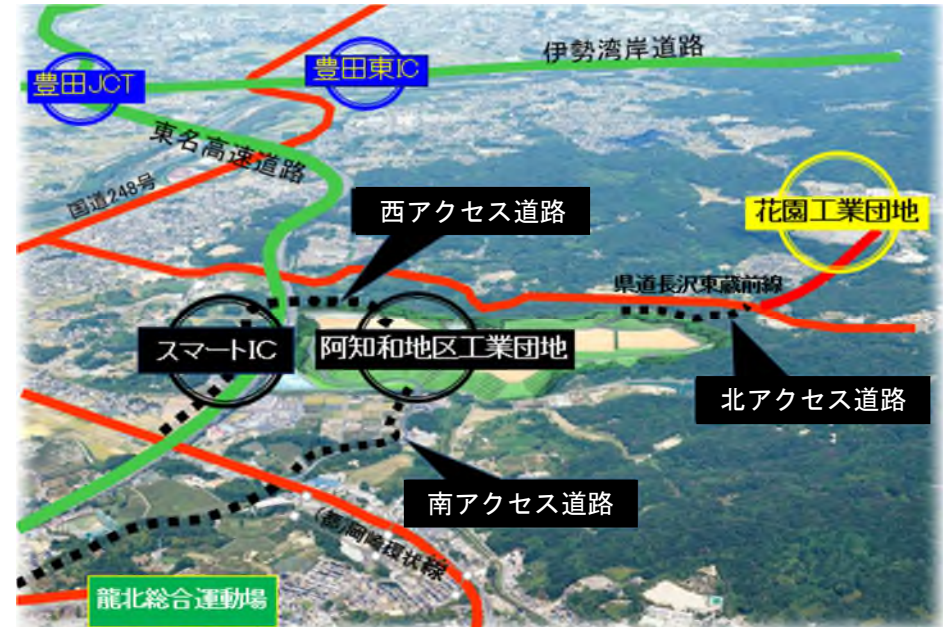
■阿知和地区工業団地関連道路整備業務

◇概要

- ・北アクセス：工業団地から真福寺町牛落交差点まで
- ・南アクセス：工業団地から都市計画道路岡崎環状線を経て真伝町総合グランド西交差点まで

阿知和地区工業団地へのアクセス道路を整備することで、地域で課題となっている通勤時間帯の渋滞緩和を図ります。

令和6年度は、北・南アクセス道路の整備を進めます。



スマートインターチェンジ整備業務〔予算額 1,055,845千円〕

〔令和5年度3月補正に前倒した予算額 77,000千円〕(合計予算額 1,132,845千円)

総合政策部地域創生課
技術係(23-6565)

財源内訳 国庫支出金 68,000千円、諸収入 61,000千円、市債 358,000千円、一般財源 568,845千円

高速道路へのアクセス及び物流の効率化による生産性向上のため、(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジを、阿知和地区工業団地の計画と合わせ整備します。また、岡崎サービスエリアにスマートインターチェンジを整備する事業手法の検討を進めます。

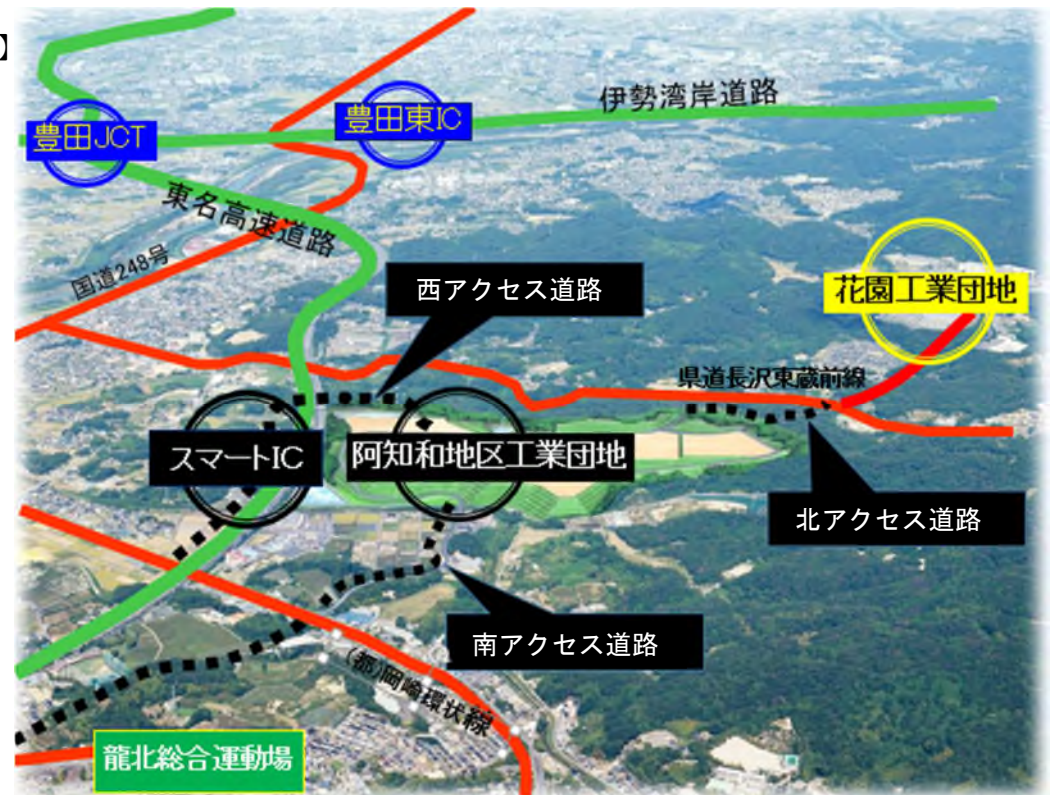
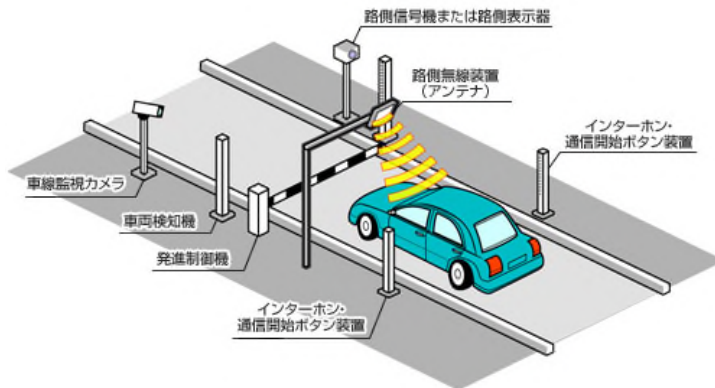
◆令和6年度予算内容

【((仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジ 関係(西アクセス道路の整備を含む。))】

- 道路築造工事
- 仮設道路築造工事
- 跨道橋架け替え工事
- 通信管路移転補償費(高速道路)
- スマートインターチェンジ 安全施設等設計業務
- 周辺道路測量設計業務 等

【岡崎サービスエリアスマートインターチェンジ 関係】

- 事業手法検討業務



※(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジは阿知和地区工業団地の造成完了(令和8年度末)後、進出企業が操業開始するまでの開通を目指します。

街路・道路新設改良事業〔予算額 1,030,442千円〕

※矢作川右岸南北道路整備業務始め9業務合算
〔令和5年度3月補正に前倒した予算額 105,140千円〕(合計予算額 1,135, 582千円)

土木建設部道路建設課
工事1係(23-6231)
工事2係(23-6251)

財源内訳 国庫支出金 197,315千円、県支出金 1,000千円、繰入金 100千円、市債 414,000千円、一般財源 418,027千円

都市計画道路、主要市道等の新設及び改良工事を行います。

■事業予定箇所

【街路】・岡崎環状線・若松線・柱町線・井田町線 【道路】・矢作川右岸南北道路・東奥洞七ツ池線（完成予定）・保母生平線



QRUWA戦略推進業務〔予算額 80,987千円〕

都市政策部まちづくり推進課
QRUWA戦略係(23-7421)

財源内訳 国庫支出金 22,909千円、繰入金 2,200千円、一般財源 55,878千円

QRUWA地区内にある豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを推進することにより、まちの回遊を実現させ、その波及効果として市民の暮らしの質の向上とエリアの価値向上に取り組みます。整備が完了した籠田公園、中央緑道等の公共空間がさらに活かされるよう、主に企業をターゲットとした事業化支援としてQRUWA事業リノベーションスクールの開催、民間投資誘導のための優良建築物等整備事業の推進、QRUWAウェブ等を使った公民連携まちづくりの啓発を実施します。



QRUWA 戦略（拠点・拠点間動線）



市内企業等の事業化支援

QRUWA 事業リノベーションスクール



事業化事例

民間投資誘導

優良建築物等整備事業



啓発(情報発信)

QRUWA ウェブ



あの人のトライ：有限会社稲垣石材店 稲垣謙太さん

2023.11.30 #甲南もほのび



あの人のトライ：一般社団法人ドゥーラステーションめぐる 松本忍さん

2023.11.02 #甲南もほのび



あの人のトライ：偶偶GUUGUU 畑克敏さん

2023.10.13 #甲南もほのび



あの人のトライ：東友里さんと東信史さん



あの人のトライ：マルサ 櫻井喜朝さん



あの人のトライ：Micro Hotel ANGLE 飯田まきさん

東岡崎駅周辺地区整備推進業務〔予算額 732,089千円〕

都市基盤部拠点整備課
総務企画係(23-6452)

財源内訳 国庫支出金 81,585千円、県支出金 23,130千円、繰入金 390,000千円、諸収入 7,000千円、市債 21,000千円、一般財源 209,374千円

■本市の玄関口である東岡崎駅周辺地区を「誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点」となるよう整備します。

名鉄との基本協定に基づき、自由通路、橋上駅舎、駅ビル、バスターミナル等の一体整備（第2期整備）を進めます。

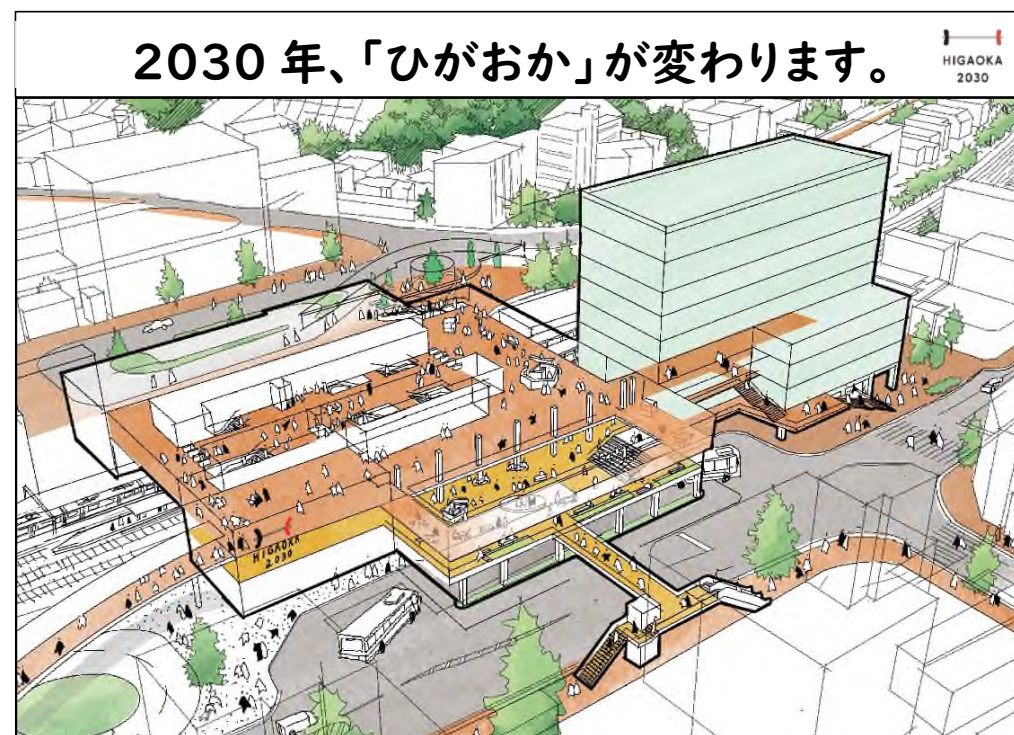
■令和6年度の主な内容

岡ビルや南口駐輪場等の解体工事に着手するとともに仮設の駅務施設整備等の準備工事を行います。

また、駅整備とともに駅エリアの魅力向上のために駅周辺において公民連携によるまちづくりを推進します。

■整備スケジュール

- 令和4年度(2022年度) 都市計画決定
- 令和5年度(2023年度) 事業の施行認可、橋上駅舎建設着工
- 令和6年度(2024年度) 駅ビル解体開始
- 令和9年度(2027年度) 新駅ビル建設着工
- 令和10年度(2028年度) 橋上駅舎完成
- 令和11年度(2029年度) 新駅ビル完成



本宿駅周辺地域拠点関連道路整備業務〔予算額 388,294千円〕

都市基盤部市街地整備課
組合支援係(23-6166)

財源内訳 | 市債 266,000千円、一般財源 122,294千円

地域拠点として整備する本宿駅周辺の定住人口の増加及びアウトレットモールを核とした観光施策実施による交流人口の増加に対応するため、骨格となる道路整備をアウトレットモール事業者と一体となって実施し、安全で円滑な交通を確保します。

■整備の概要

骨格道路（市道池金本宿線）の標準幅員を20mとし、3つの渋滞対策を含めた整備を実施していきます。

<渋滞対策①>

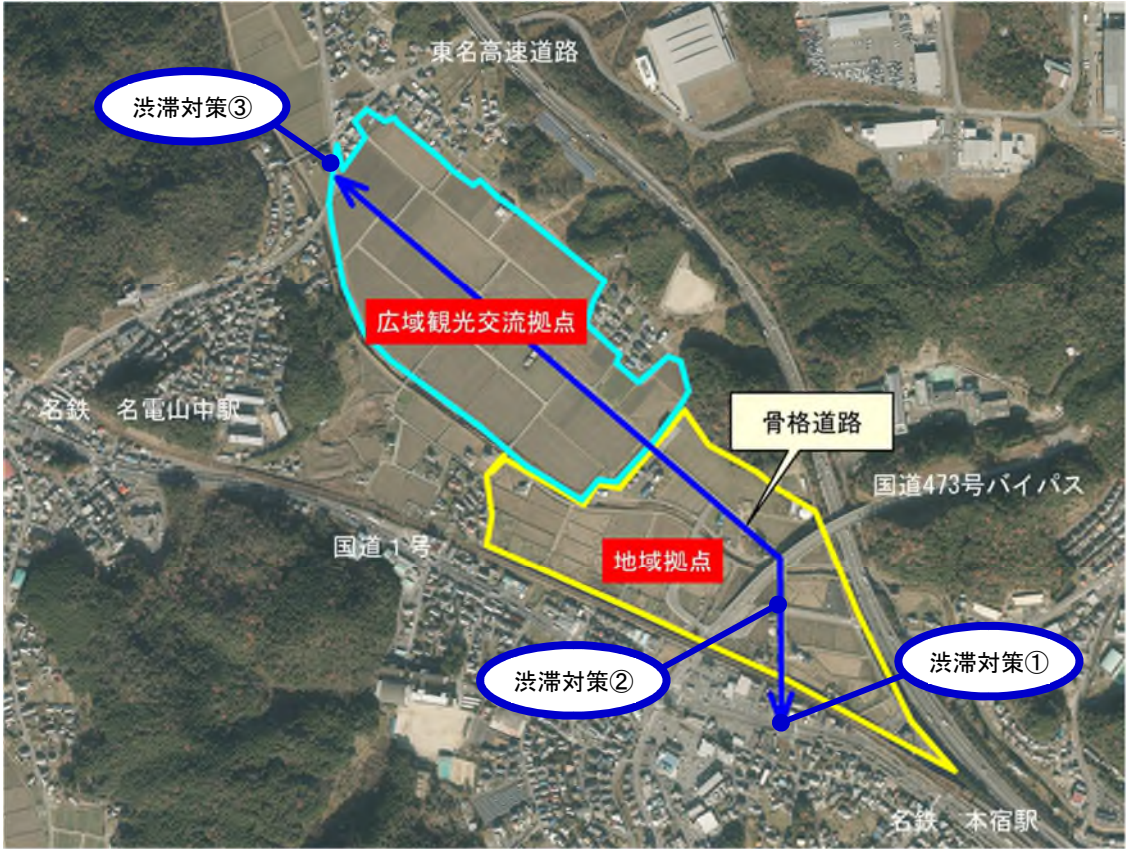
- ・国道1号城屋敷交差点の豊橋方面からの右折帯の滞留長の延長
- ・骨格道路から国道1号豊橋方面へ向かう左折専用車線の設置

<渋滞対策②>

- ・新東名高速道路岡崎東インターチェンジから国道473号を経由した流入に対する左折専用車線の増設

<渋滞対策③>

- ・県道生平幸田線と市道池金本宿線の交差点部（池金橋北交差点）を主従変更（市道を主にする）



■令和6年度予算内容

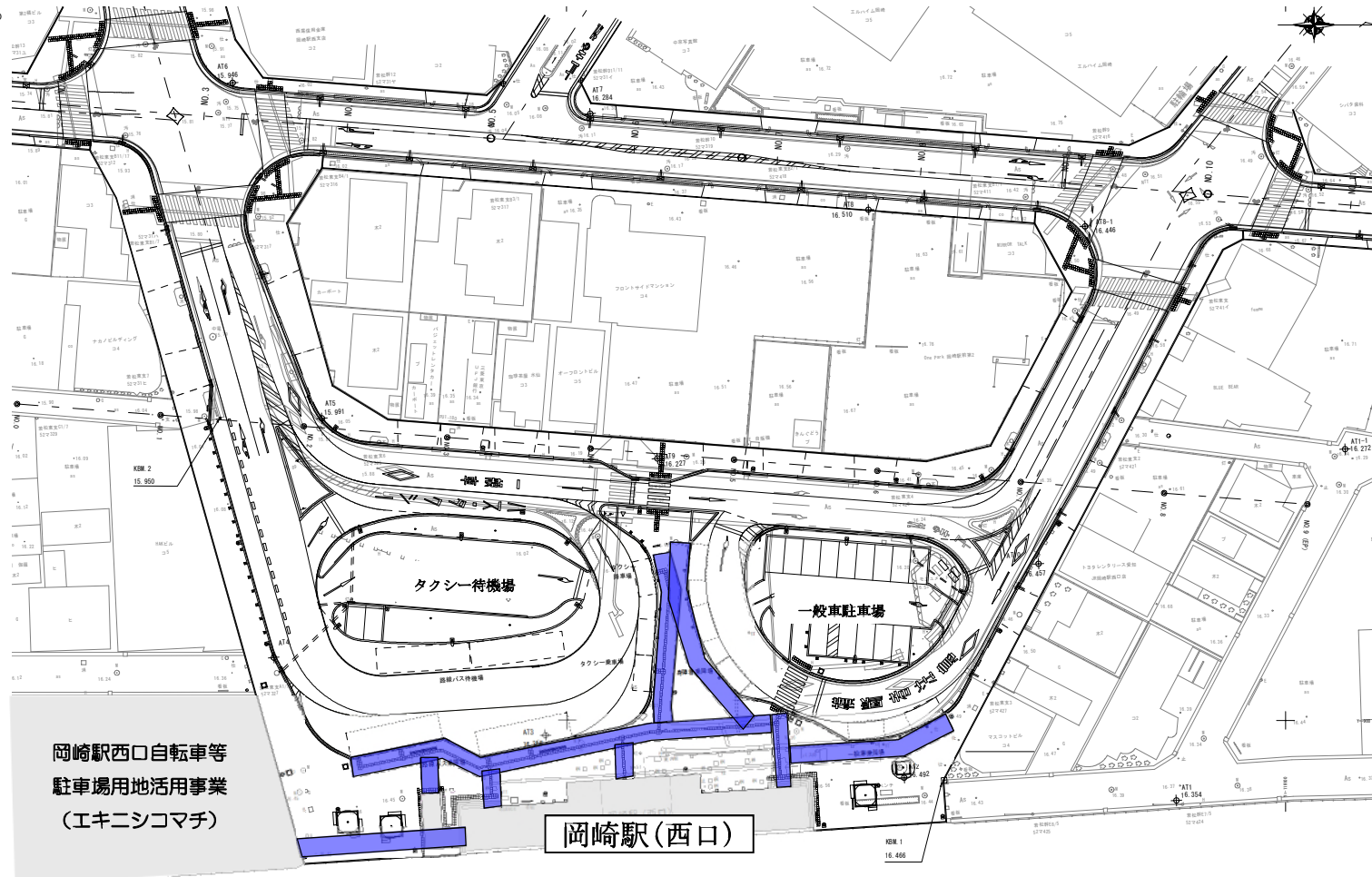
- 測量設計委託料
- 道路防護工事委託料
- 道路改良工事請負費
- 道路整備工事負担金

岡崎駅周辺整備業務〔予算額 117,788千円〕

都市基盤部市街地整備課
技術係(23-6286)

財源内訳 市債 70,000千円、一般財源 47,788千円

岡崎駅周辺地区の道路、広場等整備や規制誘導等の整備改善を図り、市民が安全・安心・快適に生活できる魅力と活力あるまちづくりを進めています。令和6年度は、岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用事業（エキニシコマチ）に合わせてシェルター設置を行います。



(仮)本宿駅西土地区画整理組合設立準備業務〔予算額 51,184千円〕

都市基盤部市街地整備課
組合支援係(23-6166)

財源内訳 一般財源 51,184千円

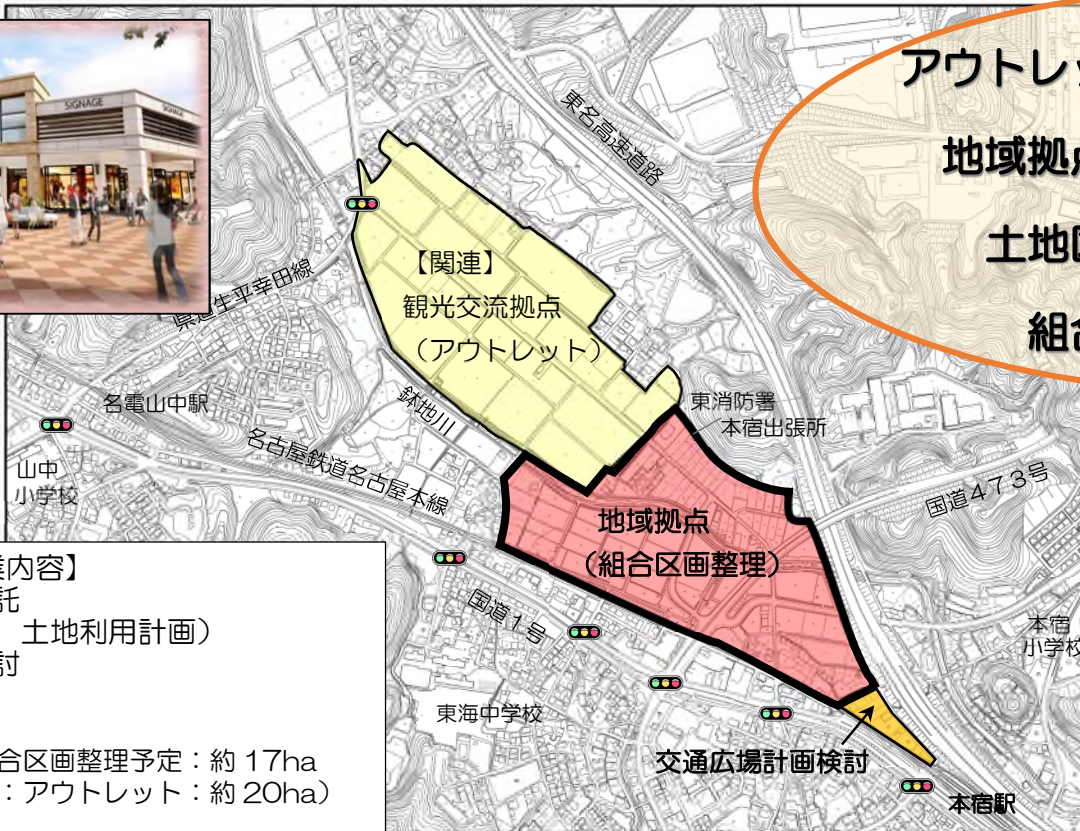
東部地域の地域拠点として位置付けた本宿地区において、優れた交通結節機能と、隣接する広域観光交流拠点におけるアウトレット事業の整備効果を十分に活かし、民間活力を活用した組合施行土地区画整理事業による新たな市街地の整備を行い、地域拠点としての機能を誘導します。

地権者を中心とした組合発起人会を支援し、業務代行方式を見据えた事業化検討パートナー（民間事業者）とも連携し、土地区画整理事業の事業化に向けて関係機関協議を進め、地権者の合意形成及び組合設立・事業化を図ります。

参考 観光交流拠点イメージ



**アウトレットの波及効果を活かした
地域拠点のまちづくりのため
土地区画整理事業の事業化・
組合設立を推進します**



地域拠点イメージ



【令和6年度 事業内容】

- 区画整理事業委託
（組合設立支援、土地利用計画）
- 交通広場計画検討

【事業面積】

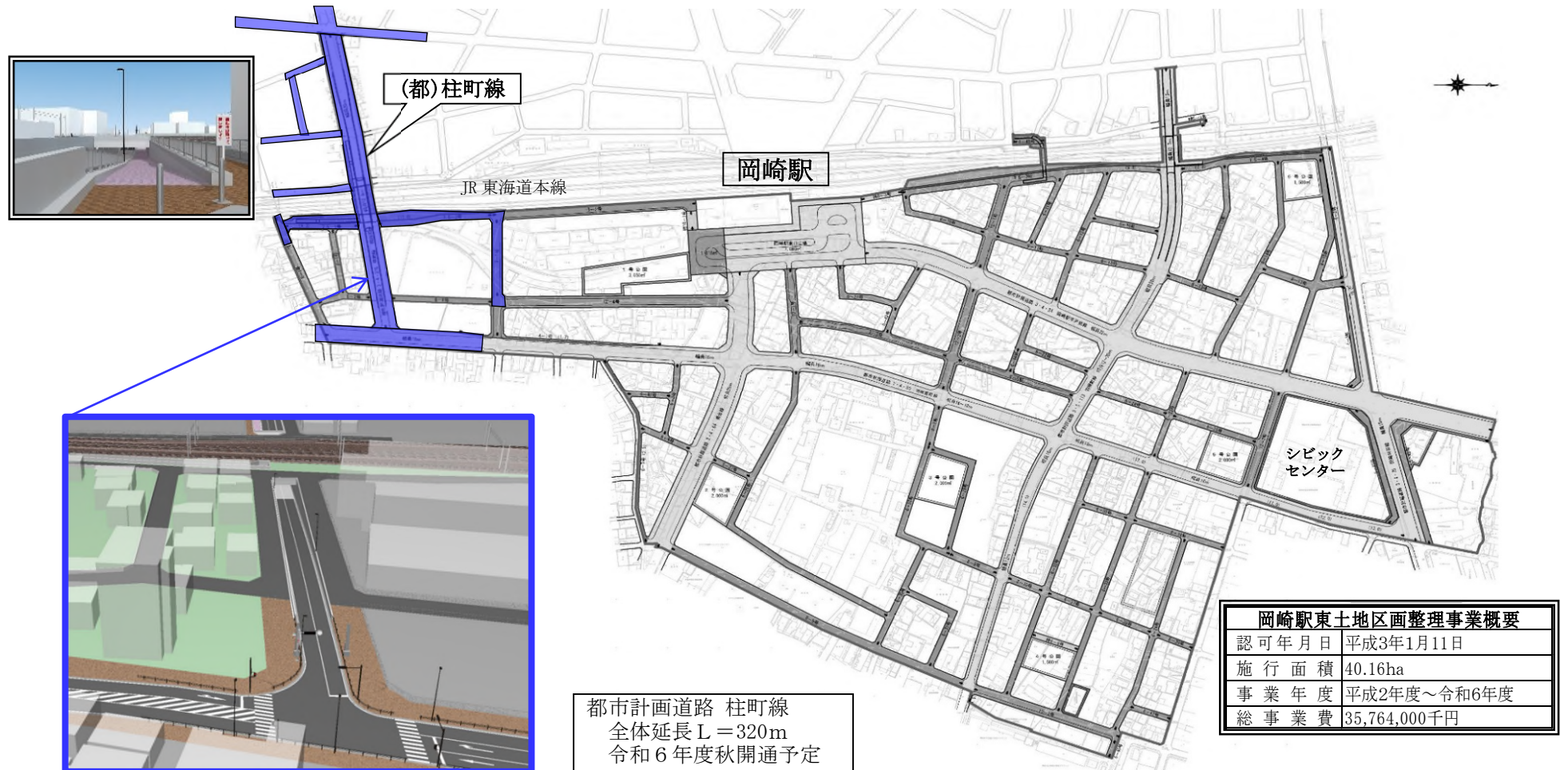
- 地域拠点区域：組合区画整理予定：約 17ha
（広域交流拠点区域：アウトレット：約 20ha）

岡崎駅東地区整備業務〔予算額 446,084千円〕

都市基盤部市街地整備課
技術係(23-6286)

財源内訳 国庫支出金 25,300千円、市債 123,000千円、一般財源 297,784千円

岡崎駅東地区を岡崎市南部の拠点として、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を図り、個性的で魅力あふれる街づくりを進めています。令和6年度は、(都)柱町線及びその周辺道路等の整備等を行います。



都市計画道路 柱町線
全体延長 L = 320m
令和6年度秋開通予定

岡崎駅東土地区画整理事業概要	
認可年月日	平成3年1月11日
施行面積	40.16ha
事業年度	平成2年度～令和6年度
総事業費	35,764,000千円

景観環境まちづくり推進業務〔予算額 137,369千円〕

〔令和5年度3月補正に前倒した予算額 4,700千円〕(合計予算額 142,069千円)

認定歴史的風致維持向上計画推進業務〔予算額 48,284千円〕

都市政策部まちづくり推進課
景観まちづくり係(23-6263)

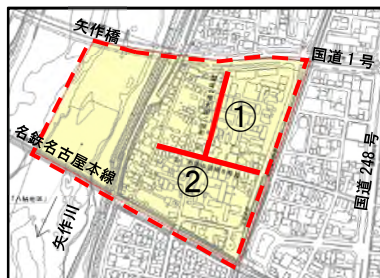
財源内訳 使用料及び手数料 1,799千円、国庫支出金 60,237千円、財産収入 9千円、繰入金 300千円、諸収入 300千円、市債 22,000千円、一般財源 101,008千円

■主な事業の概要

○景観環境まちづくり推進業務

◆無電柱化事業

八丁地区景観形成重点地区の良好な景観形成を図るため、電線類の地中化を行います。



無電柱化整備路線

■整備路線

- ①市道八帖大通2号線 延長約 160m
- ②市道中岡崎8号線 延長約 200m



②市道中岡崎8号線事業完了イメージ写真

■スケジュール(予定)

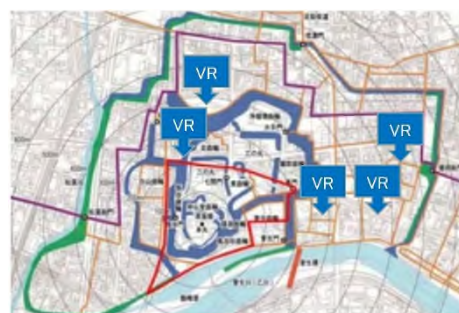
- 令和4年度 一期工事(①八帖大通2号線)
- 令和5年度 二期前期工事(②中岡崎8号線)
- 令和6年度 二期後期工事(②中岡崎8号線)
- 令和7年度 入線、電柱抜柱
- 令和8年度 道路美化

○認定歴史的風致維持向上計画推進業務

◆歴史的建造物復元等整備委託料

スマートフォンアプリ等を使用したVR(仮想現実)による歴史的建造物(史跡等)の復元等を行います。

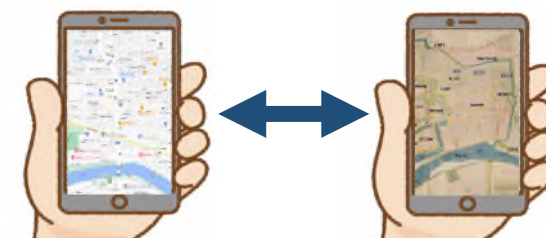
■VRで岡崎城跡周辺を復元



■歴史文化資産の情報を提供



■古地図上で現在地を表示、町を巡る



公園便所更新業務〔予算額 162,294千円〕

都市基盤部公園緑地課
計画整備係(23-6181)
管理係(23-6257)

財源内訳 繰入金 50,000千円、市債 93,000千円、一般財源 19,294千円

トイレ革命

和式トイレから洋式トイレ
誰もが使いやすいトイレへ

老朽化した便所の改修、更新等を行うことにより、
公園利用者の利便性向上を図ります。



・公園整備工事費 (157,294千円)

- 六名公園 (六名本町) : 多目的、男子、女子
- 勝蓮寺公園 (大門2丁目) : 多目的
- 藪下公園 (河原町) : 多目的

・市産材調達管理基金繰出金 (5,000千円)

六名公園便所更新市産材使用

南公園整備業務〔予算額 1,525,753千円〕

都市基盤部公園緑地課
計画整備係(23-6181)

財源内訳 国庫支出金 299,256千円、繰入金 290,000千円、市債 841,000千円、一般財源 95,497千円

令和6年4月 着手
令和9年4月 供用予定

『家族が笑顔になれる公園』をコンセプトとしたPFI方式による設計施工・維持管理を含む20年一括の再整備事業を推進します。



事業者募集時のイメージ図

実施事項	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)
基本計画策定	[Progress bar]						
アドバイザー業務(事業者選定)		[Progress bar]					
PFI事業 (20年間)	設計～建設 ※事業認可含む			[Progress bar]			供用開始
	維持管理運営業務						[Progress bar]
指定管理期間(5年間)	岡崎パブリックサービス(R1～)						
				事業者契約(R6.3)			供用開始(R9.4)

- ・ 工作物修繕料 (15,125千円)
大型遊具修繕費：(観覧車、てんとう虫のサンバ、メリーゴーランド)
- ・ 地質調査委託料 (7,100千円)
土壌汚染調査業務 (交通広場)
- ・ 公園遊具検査委託料 (5,848千円)
大型遊具保守年間管理業務費等
- ・ 公園整備：PFI再整備事業 (1,496,280千円)
PFI再整備事業：(令和6年度～令和8年度) 5,180,032千円
- ・ 公園整備：電気切替工事 (1,100千円)
- ・ 土地購入費 (300千円)
土地購入費：3.3㎡

岡崎中央総合公園整備業務〔予算額 542,097千円〕

都市基盤部公園緑地課
管理係(23-6257)

財源内訳 県支出金 56,000千円、繰入金 247,000千円、市債 150,000千円、一般財源 89,097千円

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向け、岡崎中央総合公園の整備工事を行い、大会の競技会場基準を満たすよう施設の強化を図ります。



①-1 総合体育館改修工事 (251,500千円)

○体育館 (バレーボール)

- ・アリーナ照明、便所 (洋式) 改修

継続費 (令和6年度～令和7年度) 計画額1,324,411千円

①-2 総合体育館空調設備改修工事 (110,597千円)

- ・機械設備改修工事
- ・空調設備制御装置改修工事

継続費 (令和5年度～令和7年度) 計画額131,893千円

② 多目的広場改修工事 (180,000千円)

○多目的広場 (アーチェリー)

- ・排水施設改修

交通政策推進業務〔予算額 35,480千円〕

総合政策部地域創生課
公共交通係(23-6486)

財源内訳 一般財源 35,480千円

地域公共交通計画に基づき、「地域が自らデザインする地域の交通」「輸送資源の総動員による移動手段の確保」「効率的かつ利便性の高い地域公共交通の実現」を図ります。

次世代モビリティ活用委託料

・一步先の暮らしの実現に向け、後期高齢者の増加率が最も高い北斗台団地において、公共交通に接続するまでの町内移動について、町内会による「共助」の取組支援として脱炭素かつスマートな支援が行えるよう、グリーンスローモビリティの実証運行を行います。

新たな取組



※グリーンスローモビリティとは…
時速 20 km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスです。

移動手段確保対策費負担金

チョイソコおかざき(六ツ美中部学区)
矢作デマンド(矢作地域)

- ・地域の移動ニーズに対応した、地域主体の交通手段の拡充を図ります。
- ・交通不便地域における日常生活の移動手段を確保するため、六ツ美中部学区では「チョイソコおかざき」を本格運行し、矢作地域では「矢作デマンド」の実証運行を行います。



・地域住民交通事業者・行政が役割を分担・連携して取り組み、地域内のシームレスな移動の実現を目指します。



拡充

高齢者パス負担金

- ・バス事業者が65歳以上のかたに販売している高齢者パスの購入に伴う費用の一部を補助します。
- ・高齢者のかたへの運転免許証の自主返納後の移動手段に対する支援及び外出促進による健康の増進を図ります。



※高齢者パスとは…
シルバーパス65とゴールドパス70の2種類があり、一部路線を除き名鉄バス全線が利用可能な定額制・乗り放題のフリーパスです。

●販売価格

券種	シルバーパス 65 (満65~69歳のかた対象)	ゴールドパス 70 (満70歳以上のかた対象)
1ヶ月券	7,000円	5,500円
3ヶ月券	20,000円	16,000円

大樹寺荘整備業務〔予算額 549,790千円〕

都市基盤部住宅計画課
市営住宅整備係(23-6879)

財源内訳 使用料及び手数料 29,754千円、国庫支出金 243,669千円、市債 263,000千円、一般財源 13,367千円

【事業概要】 老朽化している大樹寺荘（昭和 48～49 年建設）の建替えを行い、住宅に困窮する低額所得者へ、低廉な家賃で良好な居住環境を提供します。

【整備スケジュール】

令和 2 年度 基本設計

令和 3 年度 実施設計①

令和 4 年度 解体工事

令和 5 年度 第 1 期建設工事

令和 6 年度 第 1 期建設工事、実施設計②

令和 7 年度 第 1 期建設工事

令和 8 年度 実施設計③

） 第 2 期、第 3 期建設工事



第 1 期：住棟 1 棟（集会所・放課後児童クラブ併設）

第 2 期：住棟 1 棟

第 3 期：住棟 2 棟、外構

道路整備業務〔予算額 945,475千円〕

〔令和5年度12月補正に前倒した予算額 118,500千円〕(合計予算額 1,063,975千円)

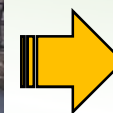
土木建設部道路維持課
工事1係(23-6225)

財源内訳 国庫支出金 38,800千円、県支出金 2,800千円、諸収入 34,227千円、市債 91,000千円、一般財源 778,648千円

岡崎市が管理する約2,000kmの市道について、老朽化等に伴う整備必要路線の整備工事を行い、安全・安心な通行の確保及び利便性の向上を図ります。

●老朽化した道路の整備

各町内会からの要望等を基に側溝及び舗装等の調査を行い、優先順位を精査した上で順次整備を図っています。



快適で安全な道路空間の確保

生活環境整備

●歩道のバリアフリー化

地域の生活を支える重要な道路の歩道を整備し、歩行者の安全で快適な通行の確保を図ります。



快適な歩行空間の確保

バリアフリー整備

●緊急輸送道路の無電柱化推進

災害時における岡崎中央総合公園や岡崎市民病院への通行の確保を図るため、市指定の緊急輸送道路において無電柱化の推進を図ります。

【整備イメージ】



道路通行の確保

防災対策